

おかし〜

齋藤龍喜

十四日目、雨天。寝台ニテ交戦中。敵軍床デ泳ギ回ルプリングルズ数百匹。通信手段ハ一昨日ノ晩狂ツタ黒田ニ電話線切ラレテ無シ。紐救無シ。隊員残り僕ト二名。他ハ床ヘ身投ゲヲシテイッタ。三秒ルール無シ。食割レテイル。夜中隣デ隊員坂本龍馬ガ“毛虫を踏んでしまったじゃきい”ト連呼スル。正気カコイツハ。カールガ、我々ハ依然枢軸国ニ依ル絨毯爆撃ヲ望ンデイル。

跨道橋。干上がった音の中を泳いで奴らはやってきて、今じゃ凍ったどぶ川にまで狭苦しく侍らせている。

はなこや久しぶり。もう水は食べていないのか。

きレ

嫌であります

きレ

嫌であります

斬レ

ここは変わってしまったなあ。水遊びが好きだった子供たちはめっきりと消え。ただ竹の葉と川面がまぶたをとじて。

捨てられた錦鯉もどこかへ。

鳥が飛んできた。

雪が降っている。

黒田さんのやさしい背中だ。帰れたらべ張鶴と勾玉で献杯じゃ。

暖かいなあ。

“血みどろだ”

坂本さんが抱きしめてくれる。誇りであるきに。

ほがらかな野原であるなあ。

“ 焼け蒸したどてっばらだよ ”

シャイセツツ!!!

十五日目、雨天。坂本が隠シテイタスマホが見ツカッタ。line ニュースニ因ルト本土ハ降伏シテイタラシイ。是ニテ充電ツキタ。早朝眼帯ノプリングルズガ降伏ヲ求メテキタ。ガ我々ハ諦メナイ。坂本、黒田、三秒ルール無し。当初ノ作戦通り本日午前十時ニテ戦闘用まくら風間ニ獅子唐ヲ装填シ突撃スル。再ビ、カールヲ東ニモ。